

地理関連学会連合第7回総会議事録

開催日時：2005年3月27日 11時30分～13時30分

開催場所：青山学院大学青山キャンパス 11号館7階1173教室

1. 開会の辞

野上 道男 地理関連学会連合議長より。

2. 司会の選出

野上道男議長より村山祐司が推薦され、承認された。

3. 書記の委嘱

司会より兼子 純（日本地理学会）が推薦され、承認された。

4. 議題

【報告事項】

日本学術会議の動向について

野上議長より、10月1日から発足する新しい日本学術会議の動向について説明がなされた。主な改正点として、会員の選出方法の変更、7部制から3部制（人文科学、生命科学、理学及び工学）への変更、研連の廃止について報告がなされた。日本学術会議会員の定年法が変更され、70歳定年、多選は3回までとなることが報告された。

自然史学会連合、地球惑星科学連合など同種組織の動向について

野上議長より、自然史学会連合、地球惑星科学連合など同種組織の動向について説明がなされた。自然史学会連合は、生物、古生物関連の学会を中心に活動する組織であり、30数学会が加盟し、シンポジウムの開催や共同のアピールを実施していることが報告された。関連して、地質科学関連学協会連合の動向について、説明がなされた。次に、地球惑星科学連合の設立状況について説明がなされた。同組織は、これまで関連学会により合同で学会を開催してきた実績があり、現在設立準備中であることが報告された。多数の小規模な学会が存在する分野の場合、日本学術会議の研連廃止との関連から、学会連合を設置する必要があることが報告された。

国際地理学連合グラスゴー大会について

村山副議長より、2004年8月にイギリス・グラスゴーで開催された国際地理学連合本大会について説明がなされた。会場に日本のブースが設置され、小中高校の教科書展示などの企画について、参加者に好評であったことが報告された。野上議長より、日本の地理関連学会の紹介パンフレット550部の配布がなされたこと、IGCの役員改選の状況について説明がなされた。次回のIGC地域大会が2006年にオーストラリアのブリスベンで開催予定であること、IGUの本大会が2008年チュニジアのチュニスで開催される予定であることが報告された。

国際地理学連合の最近の動向について

村山副議長より、田邊運営委員（東京地学協会）がIGUの副会長に再任されたことが紹介された。田邊運営委員より、IGUの最新の動向について役員の動向について報告がなされた。また、韓国の副会長より、日本・韓国・中国で合同会議を開催したい意向があることが報告された。IGUとアメリカ、中国、ロシア、メキシコ、フランスの地理学会との連携について報告がなされた。また、地理関連学会連合が後

援する、IGU 都市地理研究グループの東京カンファランス（2005 年 8 月開催予定）について紹介がなされた。野上議長より、自然地理学の地理学離れについて、IGU・IGC での動向が紹介され、地理学の求心力の低下は世界的な傾向であることが報告された。IGU グラスゴー大会でステアリングコミッティーになる日本人の数が少ない印象を受けたとの意見が出され、田邊運営委員より、日本人のコミッションに対する参加は極めて少なく、イギリスが極めて多い動向が紹介された。

ホームページの運営について

村山副議長より、地理関連学会連合のホームページがリニューアルされたことが報告された。ホームページのアクセス数を増加させるために、魅力ある内容を付加する必要があるとの考えが示された。関連学会情報について、各学会に対して関連情報の提供を呼びかける旨の依頼がなされた。参加委員より、事務局への連絡先を明記する旨の提案がなされた。あわせて、英語版のホームページも作成したことが報告された。

その他

福岡運営委員（日本生気象学会）より、日本生気象学会の動向について紹介がなされた。関連して、2005 年 9 月に国際生気象学会がドイツ・ミュンヘン近郊で開催されるとの情報が提供された。細井委員（日本国際地図学会）より、スペインで 7 月に開催される ICA の国際地図学会議の情報について紹介がなされた。

【審議事項】

2004 年 12 月に運営加入学会より提案された事項について、審議がなされた。

第 2 回地理学会連合シンポジウムの開催について

シンポジウムを実現するための助成金の申請について

村山副議長より、2006 年度に地理関連学会連合のシンポジウムを開催したい旨の提案が出された。助成金については、いくつかの財団に助成を申請する予定であることが報告され、同提案に基づくシンポジウムの開催について異議なく了承された。シンポジウムのテーマについて、野上議長より、地域多様性 geo-diversity といった内容が地理関連学会連合の共通テーマとしてふさわしいのではないかと認識が示された。秋山委員（人文地理学会）より、前回のシンポジウムにおいて賛同加入学会はどのような参加形態であったのか、運営加入学会との相違点について質問が出された。野上議長より、地理関連学会連合の設立経緯が説明された。賛同加入学会は、役員の選出及び審議事項の提案について権利を有しないが、本連合が提案する趣旨に賛同するかどうかは、両加入学会に区別はないとの考えが示された。田邊運営委員より、運営加入学会から賛同加入学会に対して、運営加入学会への参加を呼びかける旨の提案がなされ、異議なく了承された。「地域多様性」を中心としたシンポジウムのテーマ案について提案され、異議なく了承された。

地理関連学会連合の活動促進について

野上議長より、地理関連学会連合で合同学会を開催することの必要性が説明され、この旨提案がなされた。これについて、各加入学会に対して検討が依頼された。この提案について、各運営委員から各学会の状況について報告がなされ意見交換が行われた。このことについて、できれば 2006 年総会に原案を提示することが確認された。

国際地理学連合・地域大会に対する取り組みについて

村山副議長より、2006 年にオーストラリア・ブリスベンで開催される IGU 地域大会について紹介がなされた。

アジアの地理関連学会との連携強化について

村山副議長より、アジアの地理関連学会との連携強化について、アジア各国の地理学会と情報交換をする必要性があり、その方策としてホームページの相互リンクを貼り、大会情報を提供する旨の提案がなされた。これについて、日本地形学連合及び日本地下水学会から、それぞれの活動実績について情報の提供がなされた。

その他

村山副議長より、各学会の相互交流を促進するために、大会参加料に対する提案がなされた。各学会が主催する大会参加料について、地理関連学会連合の加入学会の大会に参加する場合に、他の加入学会の会員であれば、非会員であっても会員参加費に据え置く方策がとれないかの提案があり、この旨各加入学会に検討が依頼された。

吉永運営委員（日本土壌肥料学会）より、ホームページの情報について、大会情報だけでなく例会情報も追加してリンクを貼ってはどうかとの提案がなされた。野上議長より、例会情報は数が多いため、各加入学会に事務局に対して情報の提供が依頼された。

5. 閉会の辞

野上 道男 地理関連学会連合議長より。

出席者

運営加入学会

【出席】

地理情報システム学会（野上道男・日本大学）地理科学学会（岡橋秀典・広島大学）（社）東京地学協会（田邊 裕・帝京大学）東北地理学会（日野正輝・東北大学）日本生気象学会（福岡義隆・立正大学）日本地形学連合（島津 弘・立正大学）日本地理教育学会（相澤善雄・都立国立高校）日本土壌肥料学会（吉永秀一郎・（独）森林総合研究所）日本地理学会（村山祐司・筑波大学）

【欠席】

日本沙漠学会 委任状 有り

賛同加入学会

【出席】

経済地理学会（松原 宏・東京大学）人文地理学会（秋山元秀・滋賀大学）水文・水資源学会（近藤昭彦・千葉大学）地理教育研究会（谷川尚哉・中央学院大学）日本水文科学学会（森 和紀・日本大学）（社）日本雪氷学会（岩田修二・都立大学）日本地域学会（臼井 功・横浜国立大学）日本地下水学会（近藤昭彦・千葉大学）日本地質学会（齊藤靖二）日本国際地図学会（細井将右・創価大学）（日本陸水学会（佐藤キエ子・日本大学）

【欠席】

（社）日本都市計画学会 日本環境共生学会 日本農業気象学会 歴史地理学会

以上